

東京湾での海水浴復活の方策検討プロジェクトチーム 平成27年度活動経過

東京湾での海水浴復活の方策検討PT長 関 口 雄 三
(認定NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会理事長)

1 活動経過

①第二回PTの開催

2015年5月20日に第二回のPTを開催、会員、連携フォーラム事務局、
国交省オブザーバーあわせて14名が参加し、

- ・東京都の長期ビジョンについて(東京都港湾局佐藤課長)

2016年から葛西海浜公園で海水浴実施。2015年は社会実験を実施。

- ・大阪南港の海水遊泳場について(浜端英男)
- ・東京湾の水質の現状(田中克哲)

について報告された後、今後の「開発普及」や「政策提言」のあり方について議論が行われた。議論の概要は以下の通り。

(啓発普及)

- ・行動するしかない

(政策提言)

- ・西なぎさやお台場を事例として、もっとすばらしいものにするにはどうしたらいいかという所から提言をまとめたらどうか。
- ・大阪南港の海水遊泳場の施設整備費用、メンテナンス費用も参考に検討すべき
- ・下水処理場の合流対策の現状を把握してから検討する必要がある。
- ・海水浴場の復活を都市計画の一部として捉え、東京都をリゾートシティとしてどう整備していくか、費用対効果の観点も含め考える必要がある。また、官と民が一緒になってこれを考える機関を創設すべき。
- ・海水浴場となる浜をどのようにするかという技術的な提案をすべき
- ・議員連盟を創設するよう提案してはどうか
- ・海水浴復活に関するいろいろな技術の提案をするのもあると思う。
- ・水質浄化を目指した竹ひびの1人一本運動なども提言に加えるべき

最後に、東京湾全体でどんなことが調査されてきたか、流れがわかるものや東京湾奥部の人工海浜や海に面した公園の一覧表をつくったりして欲しい。それをベースに議論したいとの意見が出された。

現在、メンバーの1人が「東京湾の海に面する公園の調査」を策定中

②現地視察

7月18日、事例見学として、葛西海浜公園西なぎさの海開きイベントにPTメンバーをお呼びしたところ、メンバー3名、国交省オブザーバー1名が参加していただき、その実情を視察していただいた。

2 今後の活動計画

東京湾奥部の人工海浜や海に面した公園の一覧表の作成、東京湾全体で水質浄化や海水浴復活に向けて行われてきた活動や技術のまとめを行いつつ、第3回以降のPTを開催し、啓発普及や政策提言に向けた議論を深めて行きたい。

～葛西海浜公園「海水浴社会実験」のお知らせ～

《実施概要》

■ 目的

東京都は、葛西海浜公園での海水浴利用を可能にしていくため、認定 NPO 法人ふるさと東京を考える実行委員会や、公益財団法人東京都公園協会等と事業連携を図りながら、海水浴社会実験を実施します。この実験により、利用者ニーズの把握や必要な安全確保の方策と運営体制を検証し、今後の参考にしていきます。

■ 日時

- ・平成27年7月18日(土)～8月30日(日)の土日祝日
 - ・平成27年8月10日(月)～14日(金)のお盆期間中
 - ・各日とも10時～16時
- 計20日間

※天候、潮の関係等で泳げないこともあります。詳しくは下記HPをご覧ください。

東京都公園協会 HP (<http://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index027.html>)

■ 場所

葛西海浜公園「西なぎさ」(江戸川区臨海町六丁目地先)の一部区域(遊泳ゾーン内)

※別紙案内図のとおり

■ 主な施設等

- ・安全施設等： 遊泳区域ロープ、アカエイ侵入防止ネット、利用案内板など
- ・監視救護体制： 監視員(ライフセーバー)、看護師を配置
- ・利用施設： トイレ、足洗い場、更衣室・シャワー、コインロッカーなど

■ 利用に当たっての注意点

- ・足場の悪い箇所や水深の変化する箇所もありますので、素足は危険です。
- ・概ね12歳以下の方は保護者同伴でご利用ください。
- ・水着、浮き輪、ビーチサンダル等は各自でご用意ください。
- ・海水浴自体は無料ですが、更衣室・シャワー、コインロッカー等のご利用は有料となります。

■ その他

- ・8月2日(日)には、認定 NPO 法人ふるさと東京を考える実行委員会主催による「里海まつり」が行われ、漁業体験やペカ船試乗会が予定されています。
- ・公益財団法人東京都公園協会(指定管理者)の自主事業として、ミニ観察会が随時行われる予定です。詳しくは、東京都公園協会のHPをご覧ください。

「東京都長期ビジョン」事業

本件は、「東京都長期ビジョン」における、以下の都市戦略・政策指針に係る事業です。

都市戦略7 「豊かな環境や充実したインフラを次世代に引き継ぐ都市の実現」

政策指針21 「水と緑に囲まれ、環境と調和した都市の実現」

【お問い合わせ先】

港湾局臨海開発部 海上公園計画担当課長 佐藤

TEL 03-5320-5577 (内線) 43-374

泳げる東京の海 少しずつ

葛西 今年は顔つけOK



埼玉県から父と一緒に水遊びに来た阿部夢里君（ゆわ）さん（右）と主婦の橋本（まほと）くん（左）は葛西海浜公園の波打ち際を走り回っていた。11日前、東京都江戸川区、竹花徹朗撮影

東京の海水浴の主な出来事

- 1891年 大森八幡海岸に「東京近郊で初」という海水浴場開設。戦前に埋め立てで移転し、戦後しばらく平和島、大森の海水浴場が営業
- 1917年 月島に海水浴場開設
- 47年 夢の島海水浴場開設。台風や財政難などで3年間で閉鎖
- 57年 葛西の区普海水浴場に江戸川区が海水浴や研修のための施設「葛西臨海寮」を設置
- 70年 経済成長による東京湾汚染で、江戸川区が葛西臨海寮を廃止
- 2001年 ふるさと東京を考える実行委発足
- 09-11年 葛西海浜公園で海水浴復活へ向けた水質浄化実験
- 12年 葛西で2日間の海水浴イベント。水への「顔つけ」は禁止
- 13年 葛西で13日間、お台場海浜公園でも1日間の海水浴
- 14年 葛西で20日間、お台場で2日間の海水浴
- 15年 都が葛西で、20日間の海水浴を社会実験として実施へ。「顔つけ」も解禁



東京都心に海水浴場を復活させる取り組みが本格化している。NPOが海水浴の体験イベントを開いてきた葛西海浜公園（江戸川区）では今年、顔を海面につける「顔つけ」を解禁。東京五輪のトライアスロン会場になるお台場海浜公園（港区）でも泳げる海をアピールする催しがある。

葛西海浜公園でのイベントは、東京湾の水質浄化に取り組み地元のNPO法人「ふるさと東京を考える実行委員会」が都の許可を得て開催。2012年に2日間、13年に13日間、昨年は20日間と開催日数を増やした。昨年は約1万8千人の親子連れらでにぎわったが、これまでは「顔を海面につけない」という条件付きだった。「顔つけ」が解禁されたこの夏は7月18日に「海開き」、土日祝日と8月10、14日のお盆期間の計20日間、体験イベントを開く。都は社会実験と位置付けて今年から運営に加わり、安全や運営体制、利用者のニーズなどを検証する。有料の更衣室やシャワーなども設ける予定だ。環境省は、常時は油膜がない▽透明度が50センチ以上▽ふん便性大腸菌数が10

0.1リットル当たり1千個以下――など、水浴場に使用できる海や河川、湖の水質基準を示している。東京都は海浜公園での遊泳を都の海上公園条例に基づいて禁止しているが、海水浴イベントや社会実験では特別に許可している。

都が水質予測

「顔つけ」は、「環境省が示す海水浴場の水質基準を通常は満たしている」と東京都が判断して初めて認めた。都は近年、年間6回の水質検査をしており、大腸菌は12、13年で4回、14

年で5回、基準を満たしていた。ただ、日によって水質の変化が大きく、昨年は基準値の8倍になったこともある。都港湾局によると、都内や周辺で雨が降ると、生活排水が近くの荒川などに排出され、水質が悪化する可能性があるという。このため、都は水質の予測を重要視している。大腸菌の検査は検査日には結果が出ないため、事前に天候や降雨量、河川の流量や潮の流れなどから基準を満たすか予測し、開場できるため、引き続き「顔を水につけない」条件付きだという。（上流博）

お台場もPR

お台場海浜公園では一昨年から、泳げる海をアピールしようとして海水浴イベントが開かれていたが、今年も港区が都の許可を得て7月25、26日に開催する。ただ、水質が安定しないため、「引き続き」顔を水につけない「条件付き」だという。（上流博）

「顔つけ」解禁まで「苦着けた」NPO法人「ふるさと東京を考える実行委員会」理事長で建築設計事務所代表の関口雄三（むつみ）氏は「ついに都が動いてくれた」と喜ぶ。関口さんにとって、葛西は生まれ育った故郷。幼少期には海水浴、潮干狩り、釣りや朝から夕暮れまで海で遊んだ。しかし、1960年代ごろ、産業・生活排水で東京湾の汚染が進み、実家は漁業をやめた。

故郷の海復活を 重ねた浄化努力

「取り組みはまたスタートしたばかりで、つなげていくことが大切。東京五輪もある。住民が立ち上がり、泳げる首都の海を取り戻したい」と世界に誇れる例にしたい。



(参考資料 2)

平成 27 年度お台場海水浴について

1 目的

「泳げる海、お台場！」を目指すアピール活動として、通常は遊泳禁止となっている都立お台場海浜公園内で、範囲を限定し、安全面等に配慮して海水浴体験を 2 日間実施します。お台場の海における海水浴等の体験を通じて、誰もがお台場の海に親しみ、お台場に棲む水生生物等を観察し、水質の向上を進める取組について理解を深める機会とします。

2 お台場海水浴開催日時

平成 27 年 7 月 25 日 (土) 平成 27 年 7 月 26 日 (日) 10 時～15 時

3 お台場海水浴開催場所：都立お台場海浜公園内

4 お台場海水浴の主な内容

- (1) 海水浴体験 (指定区域内)、(2) 地引網及び水生生物観察会、干潟観察会
- (3) お台場での取組紹介 (海苔づくり、アサリの浄化実験、アマモの育成等のパネル作成・展示)、(4) お台場の水質調査結果紹介 (パネル作成・展示)

5 参加方法等

- (1) 当日受付にて参加申し込み。小学 4 年生以下は保護者同伴。中学生以下は、ライフジャケットを着用することとします。
- (2) 参加者の熱中症対策など体調管理に留意し、1 時間に 1 回休憩タイムを設け、必ず全員 5 分間海から砂浜に上がることにします。
- (3) 参加者には、顔を海水に浸けないよう指導します。

6 周知方法

広報みなど、べいあっぷ、港区ホームページに掲載
芝浦港南地域の区有施設等でのポスター掲示及びちらし配布

7 水質検査

原則として、開催数日前に水浴場水質判定基準に基づき水質検査を実施します。さらに、開催期間中 1 日 1 回、指定水域内で水質検査を行います。なお、水質検査結果については、参加者が見やすい位置に掲示するものとします。

8 イベント中止条件

- ①主催者が危険と判断した場合、②雨天のとき (開催日)、③風速が 8 m/s 以上のとき
- ④視程が 1000 m 以下のとき、⑤波高が 0.5 m 以上のとき、⑥東京湾内湾に津波注意報、津波警報又は大津波警報が発令された場合、⑦災害が発生した場合

9 指定水域の縮小

前々日又は前日に東京都内の観測地点で 50 mm 以上の降雨があった場合又は指定水域内の海水の透明度が 50 cm 未満であった場合は指定水域を狭め、水深 100cm 程度までとします。

10 主催 港区芝浦港南地区総合支所